

I 總 括

◆ 一目統計

(平成30年4月1日現在)

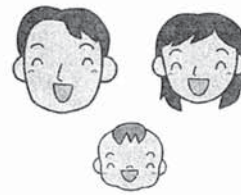
自然環境
人口・世帯



管内面積
231.25km²



気象
年間平均気温 17.0℃
年間降雨量 2,231.5mm



人口
76,993人



世帯数
36,094世帯

消防予算
構成・人事



消防予算
1,579,376千円



署所
消防本部 1
署 1
分遣所 2



職員数
定数 100人
実数 99人



消防団員数等
分団数 15分団
定数 541人
実数 487人

機械・施設



消防自動車等
水槽付消防ポンプ車 4台
小型ポンプ付積載車 4台



特殊車両等
救助工作車 1台
その他車両 6台



救急自動車等
高規格救急自動車 4台
救急自動車 1台



消防水利
消火栓 1,146基
防火水槽 213基

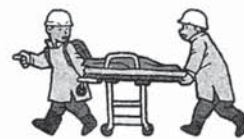
火救救
災急助



火災件数 21件
死者 1人
負傷者 1人
損害額 14,062 (千円)



出火原因
1位 配線器具
2位 電気機器
マッチ・ライター
たき火・火入れ



救急出場
出場件数 3,525件
搬送人数 3,369人



救助出動
出動件数 27件
活動件数 26件

予 防



防火対象物数
2,217件



危険物施設数
貯蔵所 94件
取扱所 72件



防火対象物定期点検
報告制度
特例認定事業所 15件
定期点検報告事業所 52件



防火クラブ
幼年消防 8団体
少年消防 2団体

1 始良市消防本部の位置と地勢

始良市は、薩摩半島と大隅半島の分岐点、鹿児島県本土のほぼ中央に位置し、南は県都鹿児島市、西に薩摩川内市、東に霧島市と隣接しています。

東経 130 度 37 分、北緯 31 度 43 分に位置し、東西 23.7km、南北 24km に広がり、面積は 231.25km² で、鹿児島県総面積の 2.5% を占めています。

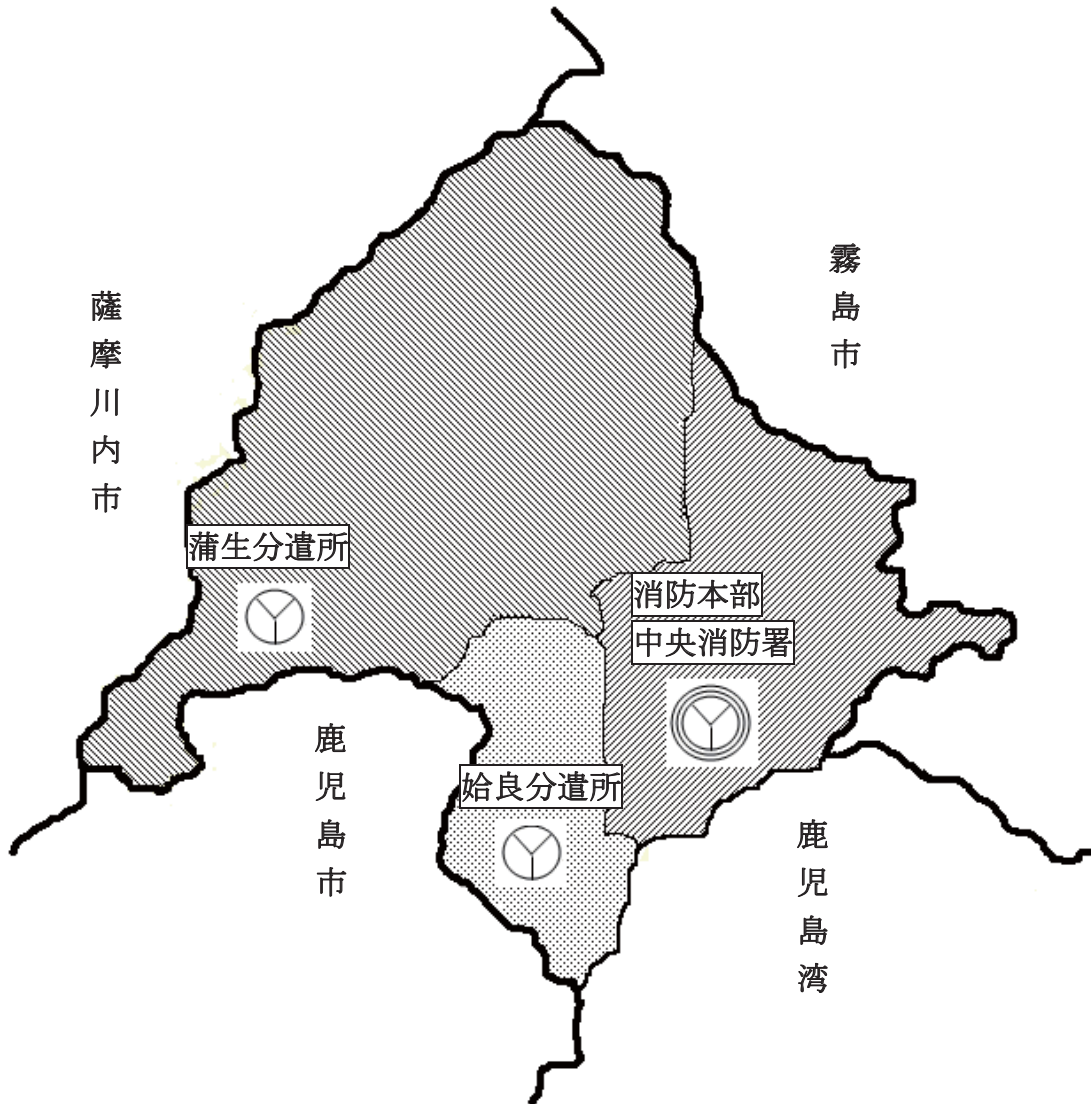
古い歴史と文化に育まれた始良市の指定文化財は県下で一番多く、伝統芸能や文化遺産などの文化財が数多く残されています。

また、樹齢約 1,500 年と推定される日本一の巨樹「蒲生の大クス」で有名な「蒲生八幡神社」、日露戦争に従軍した人の帰還を記念して建てられた希少で珍しい石造りの「山田の凱旋門」、日本の滝百選に選ばれている「龍門滝」など歴史あふれる名所や豊かな自然に恵まれています。

消防本部の位置 東経 130° 38′ 北緯 31° 44′



消防本部管内地図



3 消防本部・署の沿革

年 月 日	概 要
平成22年 3月23日	始良市が誕生し、始良市消防本部発足 初代消防長に宮原千年就任
平成22年 3月31日	消防吏員3人定年退職、2人普通退職
平成22年 4月 1日	市長部局より2人出向 消防吏員5人採用し、実人員89人
平成22年 5月 6日	救急救命士資格取得1人(計12人)
平成22年10月 8日	平成22年度緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練(薩摩川内市)
平成23年 1月 8日	始良市消防出初式(加治木運動場)
平成23年 3月16日	高規格救急自動車更新(中央消防署に配備)
平成23年 3月14日 ～ 3月23日	平成23年3月11日14時46分に発生した東日本大震災「東北地方太平洋沖地震」における災害対応に、緊急消防援助隊鹿児島県隊として総務省消防庁長官から派遣要請を受け、延べ9人出場 (派遣先:宮城県石巻市)
平成23年 3月31日	初代消防長宮原千年退任
平成23年 4月 1日	第2代消防長に黒木俊己就任 市長部局へ1人出向、市長部局より1人出向 消防吏員2人採用(救急救命士)、実人員89人 救急救命士資格取得者2人(計14人)
平成23年 4月25日	救急救命士資格取得1人(計15人)
平成23年12月26日	鹿児島県ドクターヘリ運航開始
平成24年 1月15日	始良市消防出初式(始良市始良公民館)
平成24年 3月31日	消防吏員3人定年退職
平成24年 4月 1日	消防吏員4人採用し、実人員90人
平成24年 5月 1日	救急救命士資格取得2人(計17人)
平成24年 6月13日	救急救命士資格取得1人(計18人)
平成24年 6月15日	消防救急無線電波伝搬調査及び基本設計業務委託の契約締結
平成24年 7月14日	消防吏員1人死亡退職、実人員89人
平成24年10月 1日	消防吏員1人採用し、実人員90人
平成24年11月21日	消防庁舎建設に伴う隣接地土地家屋取得
平成24年12月 5日	高規格救急自動車更新(蒲生分遣所に配備)
平成25年 1月 6日	始良市消防出初式(始良市蒲生中学校グラウンド)
平成25年 3月31日	消防吏員2人定年退職
平成25年 4月 1日	市長部局総務部へ3人出向、市長部局より2人出向 消防吏員3人採用し、実人員90人
平成25年 4月22日	救急救命士資格取得1人(計19人)

平成25年	5月16日	消防緊急通信システム等移設設置業務委託の契約締結
平成25年	5月31日	始良市消防庁舎設計業務委託の契約締結 始良市消防庁舎地質調査業務委託の契約締結 始良市消防庁舎土地地質更正測量業務委託の契約締結
平成25年	6月6日	消防通信システムデジタル化実施設計業務委託の契約締結
平成25年	7月11日	始良市消防本部中央消防署仮庁舎改修工事の契約締結
平成25年	8月27日	始良市消防本部庁舎アスベスト除去工事の契約締結 始良市消防本部庁舎解体工事の契約締結
平成25年	9月1日	消防本部、通信指令室（あいらくリーンセンター）・中央消防署（旧庁舎敷地内北側事務所）仮庁舎移転作業開始
平成25年	11月25日	消防団120周年・自治体消防65周年記念大会（東京）
平成26年	1月5日	始良市消防出初式（加治木運動場）
平成26年	1月28日	始良市消防本部庁舎杭引抜工事の契約締結
平成26年	2月24日	※参考：始良警察署（始良地区安全運転管理協議会事務局）移転業務開始
平成26年	3月31日	第2代消防長黒木俊己退任 消防吏員2人定年退職
平成26年	4月1日	第3代消防長に岩爪隆就任（市長部局総務部より出向） 市長部局総務部へ2人出向 消防吏員4人採用（うち救急救命士1人）し、実人員90人
平成26年	4月9日	救急救命士資格取得1人（計20人）
平成26年	4月21日	救急救命士資格取得2人（計22人）
平成26年	5月26日	始良市消防本部庁舎監理業務委託の契約締結 始良市消防本部庁舎新築工事の契約締結 始良市消防本部庁舎新築電気設備工事の契約締結 始良市消防本部庁舎新築空調設備工事の契約締結 始良市消防本部庁舎新築給排水衛生設備工事の契約締結
平成26年	6月12日	消防本部へ軽自動車新規配備
平成26年	6月17日	新庁舎建設地にて安全祈願祭を挙行
平成26年	7月10日	始良市消防本部外構工事の契約締結
平成26年	7月11日	消防通信システムデジタル化整備工事の契約締結
平成26年	7月17日	始良市消防本部国道試掘業務委託の契約締結
平成26年	7月18日	消防通信システムデジタル化施工管理業務委託の契約締結
平成26年	8月19日	始良市消防本部庁舎自家用発電設備工事の契約締結 始良市消防本部庁舎昇降機設備工事の契約締結
平成26年	11月21日	始良市消防本部乗り入れ口拡幅工事の契約締結
平成26年	11月22日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（福岡県久留米市）
平成27年	1月6日	始良市消防出初式（加治木運動場）
平成27年	3月10日	水槽付消防ポンプ自動車更新（蒲生分遣所に配備）

平成27年	3月16日	消防通信システムデジタル化整備完成
平成27年	3月20日	始良市消防本部新庁舎完成
平成27年	3月26日	移動式圧縮充填装置購入（中央消防署に設置）
平成27年	3月28日 ～ 29日	消防本部・通信指令室（あいらくリークセンター）・中央消防署（旧 庁舎敷地内北側事務所）仮庁舎より移転作業開始
平成27年	3月31日	消防吏員5人定年退職
平成27年	4月 1日	始良市消防本部新庁舎開庁式、業務開始 消防救急デジタル無線・消防通信指令システム等運用開始 職員定数条例を改正、消防職員90人から100人とする。 市長部局総務部へ2人出向、市長部局より2人出向 消防吏員7人採用（うち女性2人、救急救命士3人）実人員92人
平成27年	4月 8日	救急救命士資格取得1人（計23人）
平成27年	4月20日	救急救命士資格取得2人（計25人）
平成27年	4月27日	始良市消防本部中央消防署仮庁舎解体工事の契約締結
平成27年	5月 7日	救急救命士資格取得2人（計27人）
平成27年	5月16日	消防吏員1人死亡退職、実人員91人
平成27年	6月 4日	消防吏員1人死亡退職、実人員90人
平成27年	7月14日	始良市消防本部訓練塔監理業務委託の契約締結 始良市消防本部訓練塔新築工事の契約締結 始良市消防本部訓練塔新築電気設備工事の契約締結 始良市消防本部訓練塔新築機械設備工事の契約締結
平成27年	9月 9日	始良市消防本部副訓練塔新築工事の契約締結 始良市消防本部副訓練塔新築電気設備工事の契約締結 始良市消防本部副訓練塔新築機械設備工事の契約締結 始良市消防本部外構工事の契約締結
平成27年	10月29日	広報連絡車更新（消防本部）
平成27年	11月 7日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（大分県佐伯市）
平成28年	1月 6日	始良市消防出初式（加治木運動場、加音ホール）
平成28年	3月22日	始良市消防本部訓練塔・副訓練塔完成
平成28年	3月23日	小型ポンプ付積載車更新（始良分遣所に配備）
平成28年	3月31日	消防吏員1人定年退職
平成28年	4月 1日	市長部局建設部へ1人出向、教育委員会事務局より1人出向 消防吏員6人採用し、実人員95人
平成28年	4月16日 ～ 4月25日	平成28年4月14日21時46分に発生した、「平成28年熊本地震」における災害対応に、緊急消防援助隊鹿児島県隊として出場 16日～20日後方支援隊3人、20日～25日救急隊、後方支援隊各1隊6人出場（派遣先：熊本県益城町、美里町、南阿蘇村）
平成28年	5月17日	腕用ポンプ（白男分団より借用）

平成28年11月5日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（長崎県島原市）
平成28年7月19日	救急救命士資格取得1人（計28人）
平成29年1月6日	始良市消防出初式（加治木運動場、加音ホール）
平成29年3月9日	警防車更新（消防本部）
平成29年3月23日	水槽付消防ポンプ自動車更新（始良分遣所に配備）
平成29年3月31日	消防吏員3人定年退職（うち第3代消防長岩爪隆退任） 救急救命士1人退職（計27人）
平成29年4月1日	第4代消防長に福ヶ迫勇二就任 市長部局総務部へ2人、建設部へ1人出向、農林水産部より1人、 市民生活部より1人出向 消防吏員6人（うち消防職経験者2人、救急救命士1人）採用し、 実人員97人
平成29年4月10日	救急救命士資格取得1人（計28人）
平成29年4月27日	救急救命士資格取得1人（計29人）
平成29年11月11日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（佐賀県武雄市）
平成30年1月6日	始良市消防出初式（加治木運動場、加音ホール）
平成30年2月28日	小型ポンプ付積載車更新（中央消防署）
平成30年3月7日	自治体消防70周年記念式典及び消防・防災活動活性化大会（東京）
平成30年3月23日	高規格救急自動車更新（中央消防署）
平成30年3月31日	消防吏員1人定年退職
平成30年4月1日	消防吏員3人（うち消防職経験者2人）採用し、実人員99人

※始良郡西部消防組合消防本部・署の沿革については、IX付録（P73～P78）に掲載

